

川根本町社会福祉協議会 セーフティドライバーコンテスト優勝!!

島田地区代表チーム初優勝!!
個人成績8位入賞!!



10月8日、島田地区安全運転管理協会の担当者から表彰状と優勝旗などが代表選手の所属事業所へ届けられました。
今年度の島田地区代表として川根本町社会福祉協議会・桜井資源(株)・中部電力島田電力センターから各1人が出場しました。

9月28日(土)に静岡県中部運転免許センターで開催された第31回セーフティドライバーコンテスト静岡県大会において、島田地区代表チームの1人として出場した川根本町社会福祉協議会の梶原孝亮さん(尾呂久保)が団体の部で初優勝、個人の部で8位入賞という好成績を収め、表彰を受けました。
本大会は、静岡県安全運転管理協会と静岡県警が主催し、安全運転の知識と技術を競うもの

で、安全運転管理協会に所属する県内349の事業所代表が、28の支部でそれぞれ行われた地区予選を実施、その中で選ばれた84人の代表選手が学科と実技において知識と技術を競い合うものです。
今回の優勝に際し梶原さんは「県大会には4回目の出場ですが今回初めてチーム優勝ができました。今後も事業所内外の安全運転を啓発していきたい」と話しました。

千年の学校 公開講座「観光地域づくり勉強会」

10月26日(土)山村開発センターにおいて「千年の学校」公開講座「観光地域づくり勉強会」が開催され、町内外から約40人が参加しました。



はじめに、「日本で最も美しい村」連合理事の清水慎一氏から「誇りある美しい村を活かした観光地づくり」と題して講演をいただきました。
清水氏は自身の経験をもとに、従来の観光が必ずしも地域全体を豊かにしていなかったことに触れたあと、「これからは、観光客目線からの観光地づくりではなく、住民の暮らしの視点に立った『観光地域づくり』をすべき。観光や旅の原点は、住民と来訪者がその地域の暮らしを一緒に楽しむこと。『住んでよし、訪れてよし』の観光は、農林商工業をはじめ福祉や教育、文化などを下支えするものとなる。それによって、子どもからお年寄りまで地域全体が元気で豊かになる」と話しました。

後半は、久野脇区の住民グループ「くのわき未来の会」による事例発表が行われました。

「くのわき未来の会」は、地区内に存在する恋愛成就や子孫繁栄にまつわる地域資源を活用し、「縁結び」をテーマに観光客を呼び込み、地域に元気を取り戻そうと住民が主体となって様々な活動を行っています。

これまでに、散策のための「お散歩マップ」の製作や集落巡りガイドの実践、村のシンボルとなる「恋がねの鐘」の製作やエコティかわねとの協働による「花桃イベント(植栽、お花見)」などを行ってきました。最後に「自分たちが楽しむこと」「目的と活性化のビジョンを忘れないこと」「生活のペースに沿う」という3つのテーマを忘れずに活動していきたい、と話しました。

同じ町内であっても、まだまだ知らない資源や魅力があると思います。皆さんもぜひ一度、久野脇地区の魅力を実験しに出かけてみてはいかがでしょうか。



○銀賞
「静寂」



○金賞
「無垢」



○中学生の部銀賞
「雪国」



○中学生の部金賞
「森の中のキラメキ」



○寸又峡温泉大賞
「麻緋」



○寸又峡温泉大賞
「禾通の灯火」



○寸又峡温泉大賞
「大井川鐵道
夢を乗せて」



○中部電力(株)
静岡水力センター所長賞
「瓢箪」



○大井川鐵道(株)社長賞
「川根路の旅」



○静岡県観光協会会長賞
「つっちちゃん最高2019」



○川根本町
まちづくり観光協会会長賞
「めぐり逢い」



○川根お茶街道
推進協議会会長賞
「花」



○川根本町商工会会長賞
「彩り」